

なごなご全国準V

JOCジュニアオリンピックカップ第22回全国中学生なぎなた大会が、7月26日に東京都で開催され、演技競技の部で瀬長桃子さん・喜久山彩恵さん（ともに西原東中3年）組が、準優勝しました。決勝では福井県の選手にわずかの差で敗れましたが、堂々の準優勝でした。喜久山さんは「中学最後の大会でとても緊張した。結果は少し悔しいが、いい演技ができたので満足です」と大会を振り返りました。



西原東中なぎなた部のみなさん

平成26年度全日本少年少女武道錬成大会（なごなご）が8月10日に東京都で開催され、演技競技の小学校5・6年生の部Bで、新川珠羽さん（西原東小6年）が3位にあたる敢闘賞に輝きました。新川さんは「敢闘賞をとれてよかったです。大きな声も出せて、練習通りできました」と喜びを語りました。



新川珠羽さん(左から2番目)

県内の各種大会で西原勢が奮闘

第56回沖縄県中学生ソフトテニス競技大会の女子の部で、西原中女子ソフトテニス部が団体優勝。個人では石橋咲希さん・平良咲奈さん組が優勝、比嘉理美さん・仲宗根佑さん（以上、同中3年）組が準優勝しました。



西原中女子ソフトテニス部のみなさん



西原中男子ソフトテニス部のみなさん

7月27日に開催された新報児童オリンピックバレーボール大会で、西原南小を拠点に活動する西原南クラブ（女子）が優勝しました。西原南クラブは6月の第34回全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会に



坂田クラブのみなさん



西原南クラブのみなさん

続き、今年2回目の優勝です。また第34回全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会では、坂田小を拠点とする坂田クラブ（女子）が3位に入賞しました。

田村慎之介くん（那覇工業1年）は、平成26年度沖縄県高校定時制通信制夏季軟式野球大会に出場。同校は大会で優勝を飾りました。その結果、8月に東京都で開催された第61回全国高校定時制通信制軟式野球大会に出場しました。



田村慎之介くん(中央)

井出翔也くん（西原小3年）は、第28回全国ホープス南日本プロテック大会・第19回全九州卓球選手権大会（小学生の部）県予選で、与那原T.Tスポーツ少年団の一員として男子団体で優勝しました。井出くんは、8月に開催された第28回全国ホープス南日本プロテック大会・第19回全九州卓球選手権大会に出場しました。



井出翔也くん(中央)

これらの児童生徒の県外派遣にあたっては「西原町児童生徒の県外派遣に関する補助金交付事業」に基づいて、西原町から県外派遣補助金が交付されています。

お問い合わせ 教育部教育総務課 945-3655

農業講演会で、農薬の使用法を学ぶ まちの話題 下水道パレードで普及促進を

耕作放棄地解消対策事業の推進などにより、西原町で野菜栽培が進んでいることを受け、園芸セミナーが開催されています。6月にはゴーヤー栽培と経営、8月には土づくりの講習が行われました。それに続き、農薬の適正使用をテーマにした3回目のセミナーが、9月2日に西原町中央公民館で開催されました。

この日のセミナーには、農家や農業関係者が参加。農薬に関連する法律や適切な使用法などを学びました。沖縄協同青果(株)の足利浩一郎さんは農薬の散布履歴などを書き記す防除日誌について説明。「農薬の適正使用は県産農産物の安全性と信頼確保につながる」と指導しました。



毎年9月10日の「下水道の日」にちなんで、下水道整備促進の理解と協力を得ることを目的に、9月5日に車両広報パレードが行われました。このパレードは、西原町と中城村・与那原町・南城市の事業促進を合同で実施したものです。西原町役場では中継式が行われ、役場の職員や関係者がパレード隊を受け入れました。(写真)

中継式であいさつした崎原盛秀副町長は「下水道の役割を地域住民が理解し、普及することで地域環境の改善が図られ、住みよいまちづくりにつながる」と、激励しました。

「サワフジの詩」歌碑建立に向けて期成会を設立

字嘉手苅出身の故平敷静男氏が、小さいころから生活の中で愛着していたサワフジを題材に作詞した「サワフジの詩」（石川静枝作曲）の歌碑建立に向けて、「サワフジの詩」歌碑建立期成会（波平常則会長）が立ち上がり、9月11日に設立総会が行われました。



設立にあたり波平会長は「平敷氏は西原町史の編集委員長を務めるなど、各分野で西原町に大きく貢献している方。氏の思いが詰まった詩の歌碑建立のためには、みなさんの協力が必要。個人、団体、企業などたくさんの方に協力をお願いしたい」とあいさつしました。

サワフジの花に命の尊さや平和への願いを含め、故平敷静男氏は「サワフジの詩」の詞を作りました。その思いを感じ、石川静枝氏が町民に愛され、長く歌ってほしいと願い、作曲しました。西原町指定天然記念物サワフジの花木のさらなる普及と、故平敷氏の詞に込められた平和を願う心を広く町民に顕彰するため、同期成会は歌碑の建立を目指しています。

※※ 歌碑建立に向け、事業にご賛同する方からの寄付を募集しています ※※
寄付についての詳しいことは、事務局にお問い合わせください。
(個人は1口1,000円より、企業は1口10,000円より。何口でも可)

お問い合わせ
「サワフジの詩」歌碑建立期成会事務局
☎090-6775-7586 (事務局長:大城)

西原の児童が福島の子もたちと交流&富士山登山

東日本大震災の被災地域に住む児童と交流しながら富士山の登頂を目指し、豊かな感受性や感謝・助け合いの心を育み、青少年の健全な育成を図る「夢を力に!日本一からの景色 2014」が、8月2日から5日の日程で開催され、西原町から2名の児童が参加しました。



富士山五合目で記念撮影

この事業には西原町のほか、南城市や南風原町、与那原町などから16名と福島県郡山市から5名の児童が参加。富士山登山など4日間の旅を経験しました。旅の2日目、富士山登山の日は朝5時に出発。登山ガイドの指導のもと、子どもたちは助け合いながら14時ごろ山頂に到着しました。

旅が始まったころは緊張気味だったそうですが、登山が終わるころには子どもたちに絆が生まれ、ひとつになったそうです。また、参加した子どもたちは旅をしながら福島の子もたちと交流し、メッセージを書いて送りました。

この事業を主催した(公社)島尻青年会議所の明るい未来育成委員会委員長を務める照屋一盛さんによると「日本一の富士山登頂を目指すというのが目的。目的を持つことの大切さと、達

成するためにどうしたらいいかを考えるため」の企画とのこと。富士山登山は途中でリタイアする子もいたそうですが、照屋さんは「目標を持ち、チャレンジしたことが重要。これが次の目標へのチャレンジにつながればいい。学びと気づきの機会が提供できたと思う」と、事業を振り返りました。

平成26年度DV対策事業 「一般県民対象のDV問題についての講演会」

どならない子育て(コモンセンスペアレンティング) ~それってしつけor虐待?子育てが楽になる法則~

日時: 12月6日(土)13:30~15:30
場所: 西原町町民交流センター さわふじ未来ホール(西原町役場内)
講師: 砂川 純子氏(沖縄県中央児童相談所保護班 主幹)
対象: 一般県民及び関係者

《コモンセンスペアレンティングとは》
暴力や暴言を使わずに子どもを育てる技術を親に伝えることで、虐待の予防や、虐待をしてしまった親の回復を目指すため、アメリカで開発されたプログラムです。一般の子育てにも効果があると評判です。

【参加申込】 事前に申込みが必要です。
申込方法: 申込用紙に必要事項を記入し、総務部企画財政課に持参、またはFAXで提出してください。
また、電話やメールでの申込みも可能です。(必要事項をお伝えください)
※申込用紙は総務部企画財政課で受け取れるほか、西原町ホームページからダウンロードできます。

参加費: 無料
申込期間: 10月1日(水)~11月28日(金)
主催: 沖縄県・(公財)おきなわ女性財団 共催: 西原町

【お問い合わせ】
総務部企画財政課 男女共同参画係 ☎945-5340